

神の時を待つヨセフ

創世記四〇章

そこで、あなたが幸運に恵まれたときには、私を思い出し、どうか私に慈しみを示してください。ファラオに私のことを話し、この獄から私が出られるようにしてください。(14)

同じ牢獄にやってきた二人の王の側近が見た夢を解き明かしてあげたヨセフは、そのうちの一人に今日の聖句のように頼みました。三日後、ヨセフの解き明かしのとおり、献酌官長は元の役目に戻りました。ところが彼は、ヨセフのことを忘れてしまいました。ヨセフは出獄までもう二年待たされることになります。それはヨセフに必要な霊的訓練のときでした。人に頼るのではなく、主にのみ頼るべきことを改めて教えられたのです。そしてこの二年の遅れがあったからこそ、やがてエジプト王ファラオの夢を解き明かすことになりました。人の計画をはるかに超えた神の計画、神の時でした。神のみわがが全然進まないように見えるときも、失望してはなりません。「人の心には多くの計画がある、しかしただ主のみ旨だけが堅く立つ」(箴言一九21)。主の最善を信じて、神の時を待ちましょう。